

# 交通ICカードの商業利用とその意識に関する研究

## ～決済サービス提供店舗を対象とした調査～

福岡大学 辰巳 浩, 堤 香代子, 渡邊 譲治, 後藤 雄祐

### 研究の背景と目的

近年、交通ICカードの普及が進んでいるが、交通ICカードの利用により、公共交通利用の際の抵抗感が減少すると考えられる。また、地方都市では、公共交通の利用頻度が低いために未だ交通ICカードを所有していない人々が数多く存在しており、車から公共交通への転換を促進する上で、まずはこうした人々に対して交通ICカードの所有を促すことが重要であるといえる。

当研究室では、既往研究において交通ICカードの利用者を対象としたアンケート調査を実施し、公共交通での利用実態とその意識を把握しており、交通ICカードの電子マネー機能に着目し、商業利用の普及を促すことで、所有促進を図り、公共交通の利用促進につなげることを狙っている。

本研究では、交通ICカードの商業利用者として、サービスを提供する立場である店舗へアンケートを実施し、交通ICカードの商業利用実態とその意識を把握することを目的とする。

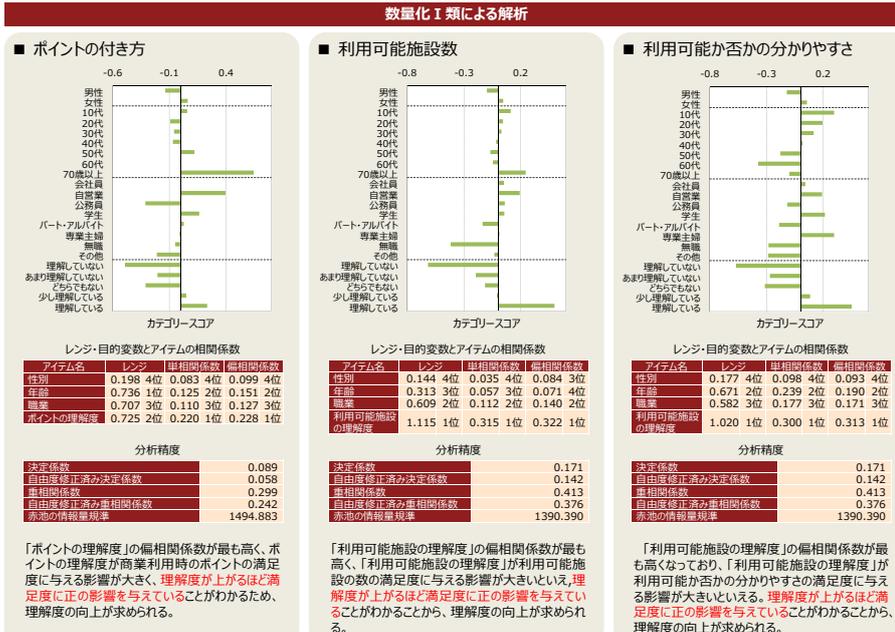
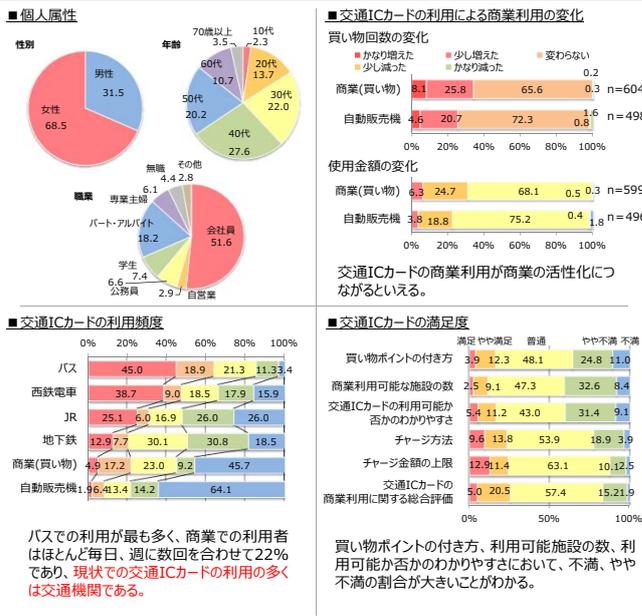
### 商業利用者へのアンケート調査の概要

アンケートの対象	交通ICカードの商業利用者
配布日時	2011年10月13日(木) 8~18時
配布/回収方法	調査員による配布、郵送回収
配布場所	西鉄福岡駅ラゾーナ周辺 博多バスターミナル1階コンコース
配布部数	西鉄福岡駅 2,000部 博多バスターミナル 2,000部
回収部数	1,260部
回収率	31.7%
調査項目	・個人属性 ・所有・利用実態 ・ICカードに対する考え ・チャージについて ・ICカードの満足度 ・商業利用しない理由 ・未所有者のICカードを所有しない理由 ・未所有者のICカードの理解度
ICカードを持っている	1,128人
ICカードを持っていない	132人
商業利用している	619人
商業利用していない	509人

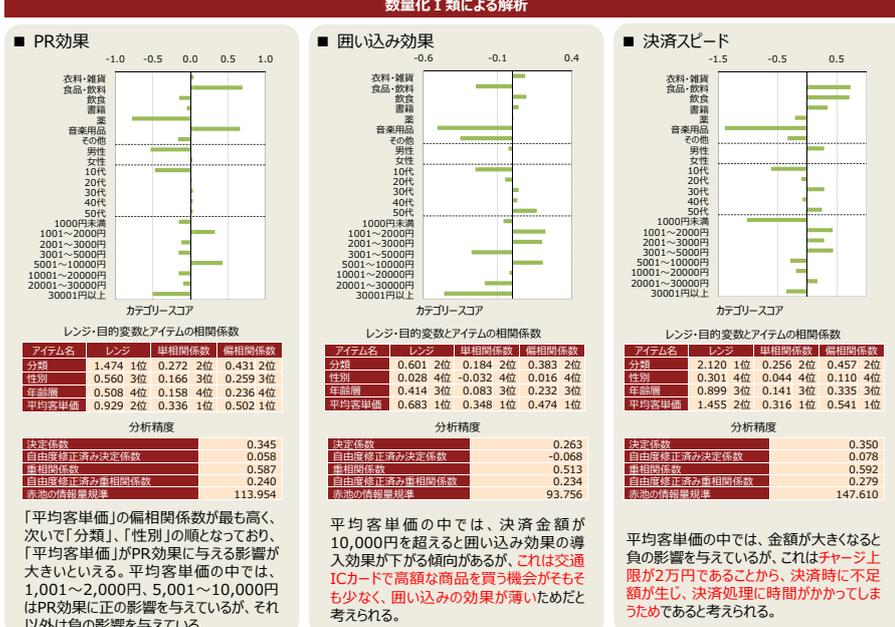
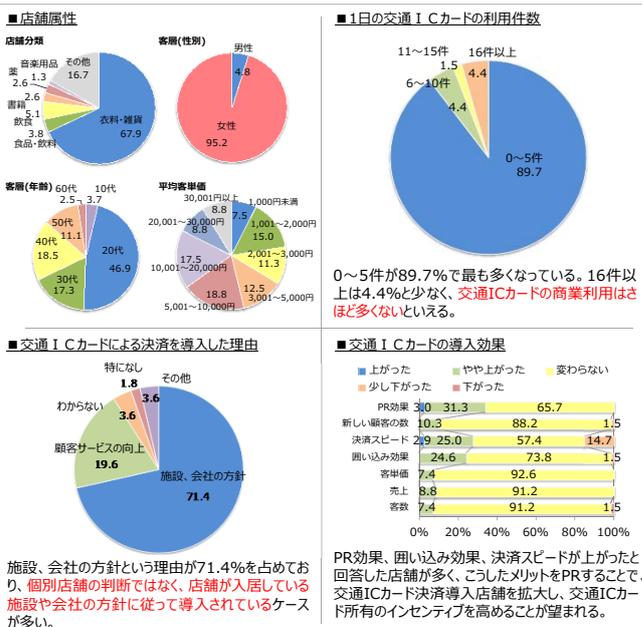
### 店舗へのアンケート調査の概要

アンケートの対象	福岡市天神地区の商業店舗
配布日時	2012年10月
配布/回収方法	WeLove天神協議会を通じて配布、後日郵送回収
配布部数	892部
回収部数	150部
回収率	16.8%
調査項目	・店舗属性 ・交通ICカードによる決済の導入理由 ・交通ICカードによる決済の利用状況 ・交通ICカードによる決済の導入効果 ・交通ICカードによる決済システムに対する考え
交通ICカードによる決済を導入している	85店舗
交通ICカードによる決済を導入していない	63店舗

### 商業利用者に関する分析



### 店舗に関する分析



### 総括

本研究では、交通ICカードの利用者と、サービスを提供する立場の店舗へアンケートを実施し、得られたデータを用いて交通ICカードの商業での利用実態とその意識を把握することを目的とした。

#### 交通ICカードの商業利用者に関するアンケート

- 交通ICカードが商業であまり利用されていないが、交通ICカードの所有が、商業の活性化に繋がるといえる。
- 「ポイントの付き方」に関する解析では、「ポイントに関する理解度」がポイントの付き方の満足度に大きな影響を与えており、理解度が上がるほど正の影響を与えていることがわかった。
- 利用可能施設の数、利用可能か否かのわかりやすさの満足度においても、「利用可能施設の理解度」が利用可能施設の数、利用可能か否かのわかりやすさの満足度に大きな影響を与えており、「理解度が上がるほど正の影響を与えていることがわかったため、理解度向上のための取り組みが求められる。

#### 店舗へのアンケートの結果

- 交通ICカードの導入理由として最も多かった意見は「施設、会社の方針」であり、個別店舗の判断ではなく、店舗が入居している施設や会社の方針に従って導入されているケースが多いことがわかった。
- 交通ICカード決済の導入により、PR効果、囲い込み効果が上がったと回答した店舗が多かったため、こうしたメリットをPRすることにより、交通ICカード決済導入店舗を拡大し、交通ICカード所有のインセンティブを高めることが望まれる。
- 導入効果を目的変数とした解析では、導入効果のどの項目においても、決済金額が導入効果へ大きな影響を与えていることがわかった。その理由として、チャージ金額の上限が2万円であることが挙げられる。